

海洋教育に関する 国土交通省の取組み

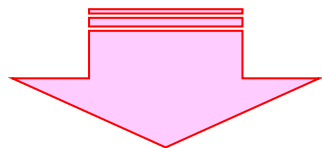
国土交通省海事局 海洋教育・海事振興企画室
令和8年6月

海洋・海事への理解増進の必要性

四方を海に囲まれ、エネルギー資源を海外に依存している我が国において海事産業は

- ・ 社会経済の発展と国民の生活の安定を図る基盤
- ・ 海事産業が集積している地域の経済と雇用を支える重要な産業
- ・ 海洋資源・エネルギーの開発は、将来の日本を支える成長分野

我が国の海洋国家としての維持成長や海事産業の国際競争力の強化のためには、国民、特に若年層の海洋や海事産業への関心や親近感の喚起が重要



**国民の目に触れる機会が少ない海洋や海事産業に
目を向けてもらい、理解増進を図る**

次世代を担う子どもや若者を中心とした国民に対する海洋・海事への理解と関心の喚起

- 小中高校における海洋教育（海事教育）の推進
- 海や船に触れる機会の創出と、海洋・海事に関する情報発信



海洋教育推進事業 1 — ① 本省事業

海洋教育プログラム

- ◎ 海洋教育プログラム（教員の学習指導案の例）の作成
- 【社会科指導案】海事教育を授業に導入する際の指導方法の提案
 - 【副教材資料の活用】授業で活用する資料を選択する際の参考
 - 【社会科以外の科目等での活用】他教科での海洋教育を提案
- ※複数の学校において試行授業を実施し、効果測定及び改善を図った。



海洋教育実施の支援体制整備・成果物の普及による効果的な海洋教育の実施
 → 児童・生徒・教員・保護者に海洋や海事産業への理解増進を図る

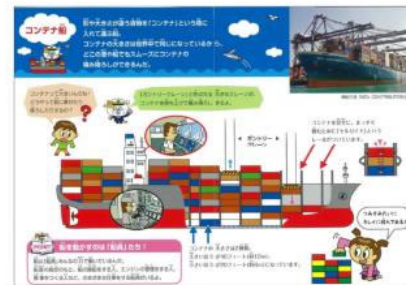
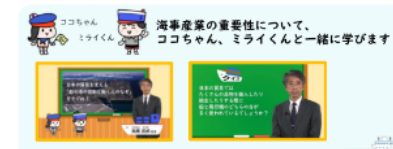
◎ 海洋教育プログラムの普及

- ・作成した海洋教育プログラムを海事局HPで公開中
 → 海洋教育カリキュラム・マネジメント例
- ・小中学校の学習指導案の例を作成し海事局HPで公開中
 → 小学校5年生社会科4種類、6年生社会科2種類、中学校地理的分野3種類
- ・海洋教育プログラムを用いた試行授業動画を海事局HPで公開中
 → 小学校5年生社会科5授業、中学校地理的分野4授業
- ・小・中学生教育者向け海洋教育PR資料の配布
 → 令和7年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡・研究協議会（文部科学省）にて配布

PR資料より

社会科における海洋教育の推進 海事産業の重要性を伝える授業動画

- ▶ 四方を海に囲まれた日本にとって、海運や造船、港湾などの海事産業は、私たちの暮らしや経済を支える不可欠な社会インフラであり、我が国の貿易量の99.6%、国内物流の約4割は海上輸送に依存しています。
- ▶ しかし、海事産業は、人の目に触れることが少ないため、その役割や重要性を正しく知る機会が多くありません。我が国が「海洋国家」として持続的に発展していくためには、国民一人一人が子供の頃から、海洋や海事産業に関心や理解をもつことが必要となります。
- ▶ また、「海上輸送」「造船」「港湾」などの海事産業に関して、小・中学校学習指導要領（平成29年3月告示）での記載が充実し、学校教育の学習内容として明確に位置づけられました。
- ▶ そこで、子供たちに海事産業の重要性を伝えるため、GIGAスクール環境を活用いただける授業動画（約7分）を制作しています。



HPで公開中の学習指導案の例より

海洋教育授業動画の作成

【めざせ！ ぼくもわたしも船博士】（7分程度×3種類）※「海ココちゃんねる」で公開中

- ① 日本の食料輸入を支える「海上輸送のなぞ」をさぐれ！
- ② 日本の貿易を支える「船や港の役割と働く人のなぞ」をさぐれ！
- ③ 自動車運搬船などをつくる「造船所のなぞ」をさぐれ！

※令和4年度に上記動画のPR動画（YouTube版、SNS版）を制作し公開中

↓ オンライン授業ビデオを海洋教育に活用 ↓



海洋教育授業動画より

小学生を対象として海運、船員、造船分野の普段は見られない仕事の様子等を提示
 ⇒ 児童、教員、保護者の海洋や海事産業への興味・関心を高める

海洋教育お役立ちガイドブックの作成・配布

現場の先生方に海事関係団体の取組みについてPRするため、海事関係団体の取組みについて取りまとめた「海洋教育お役立ちガイドブック」を作成し、「キャリア教育・進路指導担当指導主事連絡協議会」（令和7年5月15日開催）にて配布

海洋教育お役立ちガイドブック



海洋教育お役立ちガイドブック



海洋教育お役立ちガイドブック



各種イベント等に関する連絡先

団体名	連絡先
(社)日本郵船会社	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船工業会	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp
(社)日本郵船労働組合	全社広報課 TEL 03-3722-1111 mail: info@nipponkaiun.co.jp

取組み別にまとめ、先生方がすぐに連絡できるよう各団体への連絡先についても記載

海洋教育推進事業2－① 地方事業

就職段階

(水産系高校生、若年自衛官、その他就職段階)

◆海事産業への就職志望者を増加させる取組

選択基準としての
勤労観・職業観の確立



就業体験
(インターンシップ)



企業説明会・就職面接会



保護者や教員に対する説明会

進路段階

(一般高校生、中学生)

◆キャリア教育に資する取組

興味・関心に基づく
勤労観・職業観の形成



出前講座



オープンスクール

理解醸成段階

(小学生高学年)

◆海や海事産業への気付き、 理解を促す取組み

海や海事産業に興味・
関心を持つ機会の創出



海事施設見学会・体験乗船



若年層の段階に応じた取組み

海洋教育推進事業2-② 地方事業

若年層の段階に応じた取組み

海事産業に対する理解促進(各種理解促進の機会提供)

普段接する機会の少ない海運、造船等の海事産業や船員の職業に関する出前講座や施設見学等を通して、児童・生徒に体験型学習の場を提供するとともに、教員、保護者には、児童・生徒への海洋教育実施のための理解促進を図る。

進路段階 (主に高校生以上)

- ◆海事産業への進路の選択を促す取組
- 海の仕事に興味を持つ生徒の増加

理解醸成段階 (主に小・中学生)

- ◆海や海事産業への気付き、理解を促す取組
- 海に興味を持つ児童・生徒の増加



業界見学会

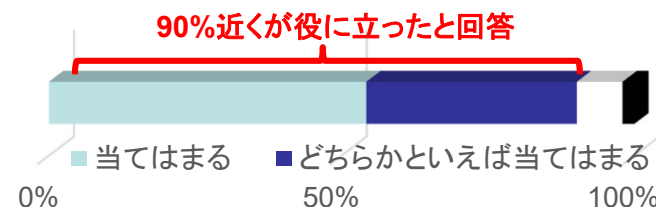
令和7年度全地方運輸局(11機関)事業実施

事業名	実施件数
インターンシップ	26
海技者セミナー	7
就職セミナー	14
進路段階等事業等	18
理解醸成段階等事業等	64
教育関係者・保護者への認知度向上	13
計	142

参加者：小学生、中学生、高校生、教員、保護者等

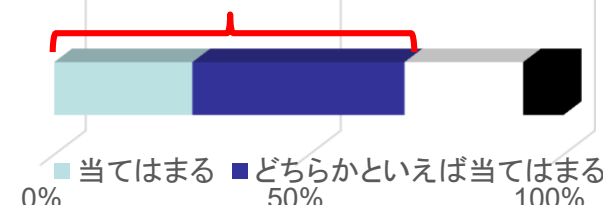
海洋教育に関する事業実施後の小・中学生のアンケートより

Q.今回の学習が役に立ったか



Q.海の仕事に対して興味やあこがれは?

65%以上が興味がある・あこがれると回答



本事業が好評であり、児童生徒にとって見識を広げるよい機会になっている。海事産業を就職先として選択する子どもを増やすため、段階に応じた取組の継続が重要。

○海離れが指摘されている子どもや若者を始めとした国民全体に対して、**海・船への興味・関心をより一層高めるとともに、海事観光や海洋レジャーの市場拡大**していくため、平成29年夏に「C to Seaプロジェクト」を開始。

○国土交通省と海事関係26団体が官民一体となった「海事広報活性化協議会」を設立して、**海や船に触れる機会の創出と、海事・海洋に関する情報発信**を行っている。

○**国民の海や船への関心を喚起する＝「海っていいね！」の共感を広げていく**ことで、**海洋教育の推進や海事産業の人材確保等**に寄与することを目指す。

※本プロジェクトは、国土交通省や日本財団等を中心に産学官民共同で行う「海と日本プロジェクト」の一環です。

【シンボルマーク】



「国民 (Citizen)、子供達 (Children)、文化 (Culture) などの様々な「C」を「Sea (海)」につなげる。

専用ポータルサイト・SNS運用



フォロワー1万人達成！



@c2_sea_project
フォロワー：約11,868人



@c2.sea.project
フォロワー：約3,050人



登録者：約1,940人



(R8.6.16現在)

アンバサダーの任命



「C to Seaプロジェクト」
アンバサダーとしてSTU48が就任
(2018年2月～)

海事産業の仕事紹介



- リアルな海の仕事集「SEA-GOTO」
- 全国の公立中学校に1万部配布

マリンアクティビティ普及



- マリン体験紹介冊子「umiasoBe」
- 誰でも気軽に「海遊び」を楽しむ方法を紹介

海事観光サイトの新設



「船に乗りたい」、「海で遊びたい」など「やりたい！」ことから探す「海の旅」サイト

民間事業者の賛同企画

MAGIC FOR ME, FOR JAPAN ♪



若者向けマリンレジャー・船旅需要喚起のためのサービス「マジ部」(19～22歳無料体験)
(主催：(株)リクルート)



御船印めぐりプロジェクト
((一社)日本旅客船協会 公認プロジェクト) (主催：御船印めぐりプロジェクト事務局)

STU48・ミス日本「海の日」による船旅・海の仕事の魅力発信 国土交通省

CtoSeaプロジェクトのYouTube「海ココちゃんねる」にて、STU48（内海里音さん、高雄さやかさん）出演の船旅動画や船員の仕事体験動画、2024ミス日本「海の日」有馬佳奈さん出演の造船所への潜入動画を製作。
船旅の魅力や船員・造船の仕事について多くの人に伝わる動画になった。

フェリー【さんふらわあ くれない】に乗ってみた！
STU48内海里音・高雄さやかが船旅の魅力をレポート！



【責任重大！】STU48の2人が船員の仕事に挑戦！
操舵号令？レットライン？船員の仕事とその魅力に迫る！



【圧倒的スケール！】東大リケジョ・ミス日本「海の日」
有馬佳奈さんと造船所ツアー！



○「海の日記念行事2026」（総合海洋政策本部、国土交通省、日本財団の共催）

開会式・海洋立国推進功労者表彰

- 日 時:令和8年7月20日(月・祝) 10:00~11:00(予定)
- 場 所:東京国際クルーズターミナル

開会式 10:00~10:30

海大臣開会挨拶、総理大臣挨拶、国交大臣挨拶、
日本財団会長挨拶

※開会式の出席者については調整中

開会式開催前（※一般来場者入場前）に大臣にご視察等をいただくことを想定

海洋立国推進功労者表彰 10:30~11:00

総理大臣より表彰状及びメダル授与（7名）、記念撮影

体験型プログラム

- 日 時:令和8年7月20日(月・祝) 10:00~17:00(予定)
- 場 所:東京国際クルーズターミナル

- ✓ ステージプログラム
 - ・日本財団、海上保安庁音楽隊演奏、日本船主協会、海上自衛隊音楽隊演奏
- ✓ 協賛団体・国・独法等各種海事関係機関による展示ブース
- ✓ **海運・造船の100年を振り返る特別展示（昭和100年関連施策）**
- ✓ 海関係絵画作品（海の子展）展示

開会式



海洋立国推進功労者表彰式



<実施のイメージ>



予定



体験乗船

(株)商船三井自動車船
(※イメージ)



気象庁海洋気象観測船
(凌風丸を予定)



- 海事局はC to Seaプロジェクトの一環として、令和7年9月26～29日に行われた**ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸に旅客船事業者等と共同で『海事観光プロモーションブース』を出展**
- 4日間で**127,677人の方が**会場となったAICHI SKY EXPOに**来場**。
- ブース内の**ミニステージ**において、**海事観光の魅力や楽しさを紹介**。ペア乗船券等をプレゼントする抽選会を実施する等ブースを盛り上げた。



名称 ツーリズムEXPO ジャパン
開催日 令和7年9月25日（木）～28日（日）
 25・26日：業界・プレス向け、
 27・28日：一般来場者向け展示会
会場 AICHI SKY EXPO（愛知県国際展示場）
主催者 （公社）日本観光振興協会、（一社）日本旅行業協会（JATA）、
 日本政府観光局（JNTO）

2026年は9月24日から27日の4日間、東京で開催

政務官の視察



ブース正面

出展、商談の様子

ミニステージ



出展者(14)

国土交通省海事局（C to Sea プロジェクト）、内閣府総合海洋政策推進事務局、東海汽船（株）、SHKライン（株）、伊勢三河湾旅客船連絡協議会、宮崎カーフェリー（株）、五島産業汽船（株）、阪九フェリー（株）、瀬戸内海汽船（株）、（株）名門大洋フェリー、太平洋フェリー（株）、マルエーフェリー（株）、西日本旅客鉄道（株）、熊本フェリー（株）

Grasp(グラスプ): <https://www.magazine.mlit.go.jp/interview/>

Vol.55「テーマ:海事振興」(R7年5月～6月)

vol.55 若者注目！船に乗って海の世界へ出航だ！

Angle A



陸のどんな出来事も、海なら小さく見えてくる

俳優・気象予報士
石原 良純

Angle B



「面白そう、楽しそう」からスタートした船長への道

川崎汽船株式会社
船長
野口 枝里

Angle C



DXに女性活躍、船乗りの仕事は大きく進化中！

国土交通省 海事局、神戸運輸監理部

前編 → 後編 →

前編 → 後編 →

前編 → 後編 →

(Angle A) 石原良純 ※タレント枠

✓ 陸のどんな出来事も、海なら小さく見えてくる

(Angle B) 女性船長へのインタビュー記事:

✓ 「面白そう、楽しそう」からスタートした船長への道

(Angle C) 海事局・神戸運輸監理部

✓ DXに女性活躍、船乗りの仕事は大きく進化中！

政府広報の活用



読売中高生新聞 R6.7.26



政府広報オンライン R6.7.12



東京FM「日曜まなびより」 R7.7.20

